

# 国際地理オリンピックに ようこそ!

第10回科学地理オリンピック日本選手権 および  
第13回国際地理オリンピック日本代表選抜大会

国際地理オリンピック日本委員会公式サイト

<http://japan-igeo.com/>



主催:国際地理オリンピック日本委員会 共催:公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

後援:文部科学省、日本地理教育学会、日本地図学会、人文地理学会、経済地理学会、東北地理学会、地理科学学会、地域地理科学会、一般社団法人 地理情報システム学会、  
公益社団法人 東京地学協会、一般財団法人 日本地図センター 協賛:帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、東進ハイスクール、日経ナショナルジオグラフィック社  
助成:一般社団法人 東京俱楽部

# 国際地理オリンピックは 「地理力」を競う

## 地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU(国際地理学連合)の総会(プラハ:チェコ)で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、12回の世界大会と3回の地域大会が行われました。そして2016年には、北京(中国)で第13回国際地理オリンピック iGeo Beijing 2016 が行われます。

## 国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ:オランダ
第2回大会	1998年	リスボン:ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル:韓国
第4回大会	2002年	ダーバン:南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グティニア:ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン:オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ:チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ:台湾
第9回大会	2012年	ケルン:ドイツ
第10回大会	2013年	京都:日本
第11回大会	2014年	クラクフ:ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ:ロシア

## 地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー:台湾
第2回大会	2009年	つくば:日本
第3回大会	2011年	メリダ:メキシコ

# 国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

## ◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な現象や地域の課題についての問い合わせに、地図や風景写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

## ◆マルチメディアテスト(MMQ)

地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な現象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

## ◆フィールドワークテスト(FWT)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な現象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問い合わせが求めていることを的確に表すことが求められます。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック(世界大会)ではすべて英語での出題と解答が求められます(辞書の持ち込みは可)。そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国的学生や先生と交流することも目的とするところです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは地理オリンピックの大切な役割です。

### 第1次選抜:マルチメディアテスト

上位およそ100位まで

### 第2次選抜:記述式テスト

金 銀 銅 メダル授与

成績優秀者を対象とする

### 第3次選抜:フィールドワークテスト

選抜試験の成績などを総合的に評価して日本代表候補を選考する。  
うち**4名**を**日本代表**として国際地理オリンピックに派遣する。

国際地理オリンピック  
iGeo

- 記述式テスト
- マルチメディアテスト
- フィールドワークテスト

文化交流

金 銀 銅 メダル授与

## ◆募集要項

### 参加資格

2015年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手（4名）は、2016年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

### 選抜について

#### ■第1次選抜 2016年1月9日(土)

会場：札幌、函館、一関、仙台、山形、前橋、水戸、東京、静岡、新潟、上越、高岡、金沢、福井、名古屋、京都、福知山、大阪、加古川、岡山、広島、出雲、浜田、福岡、久留米、長崎、熊本、鹿児島、那覇の29会場を予定。

なお、応募状況などにより、会場を変更することがあります。最新の情報を、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ (<http://japan-igeo.com/>) で確認してください。また、担当の先生が責任を持って試験会場を提供し、試験を実施していただける場合は、特例的に試験会場を設置することができます。ご希望がある場合には、科学オリンピック共通事務局 (TEL: 042-646-6220, E-mail: [info@contest-kyotsu.com](mailto:info@contest-kyotsu.com)) にご連絡ください。検討の上、主催者が決定します。

#### 内容：マルチメディアテスト

〈スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は60分。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

#### ■第2次選抜 2016年2月21日(日)

会場：東京、大阪などを予定。※前回大会では全国12カ所で実施。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。

#### 内容：記述式テスト

〈地図・資料などの説解を中心とした記述式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は120分。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績優秀者の上位から選出された者が第3次選抜試験に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

#### ■第3次選抜 2016年3月12日(土)・13日(日)

会場：関東地方で実施予定。

#### 内容：フィールドワークテスト

〈フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。当該の受験生には直接通知します。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、

2016年8月17日～21日に北京（中国）で開催予定の第13回国際地理オリンピックに派遣します。

WEB申込み専用ホームページ  
<https://contest-kyotsu.com>

#### 参加申込みに関するお問い合わせは

・科学オリンピック共通事務局へ!  
・TEL 042-646-6220  
(平日12:00～13:00／17:00～19:00)  
・E-mail [info@contest-kyotsu.com](mailto:info@contest-kyotsu.com)

#### 郵送申込書送付先

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2  
八王子SIAビル1F  
(株)教育ソフトウェア内  
科学オリンピック共通事務局 宛て

### 個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会（以下、「主催者」という）が主催しています。ご提供いただいた個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

#### 1.個人情報の収集目的について

・「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」においては、参加申込みに際して提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

#### 2.個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権兼国

際地理オリンピック選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。  
・ご提供いただいた個人情報の一部を、参加申込者の受験される第1次選抜の会場に対して、第1次選抜当日の出欠確認のために必要な範囲内で一時的に提供し、使用後返却回収します。

#### 3.個人情報の業務委託について

・主催者は「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4.個人情報のご提供の任意性について  
・個人情報のご提供は任意ではありませんが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

#### 5.個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。  
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会  
実行委員長 井田 仁康  
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会  
事務局長 生田 清人

#### 6.個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

公益社団法人 日本地理学会 事務局気付

国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局

E-mail:[geolympiad@aig.or.jp](mailto:geolympiad@aig.or.jp)



# 第13回 国際地理オリンピック iGeo Beijing 2016

会期 2016年8月17日(水)～8月21日(日)

会場 北京(中国)およびその周辺

iGeo Beijing 2016を目指す方へのOB・OGからのアドバイス

## のむらけんと 野村建斗さん

筑波大学附属駒場高等学校卒業

東京大学 理科三類 在学中

iGeo Krakow 2014

日本代表チーム・選手

2014年にクラクフで行われた  
世界大会に派遣されました

私が地理オリンピックに出場させていただいた中で最も印象に残っているのは、何といってもフィールドワークです。もともと私は座学を好みますが、代表の強化研修や国際大会を通じて、実際のフィールドを観察して初めて分かることの大切さを痛感しました。

また、世界中から同年代の地理が好きな高校生が集まって開催される国際大会には、他では決して味わうことのできない独特の雰囲気がありました。私自身はメダルという結果は残せなかったものの、世界のさまざまな国や地域から来た仲間と互いに自国の紹介をし、楽しく交流した経験は、私にとって一生の宝物となると思います。

日本では地理は社会科の一つに分類され、文系科目の一つとして扱われています。もちろん地理には人文的な側面もあるでしょうし、一定量の知識も必要とされるかもしれません。しかし、地理において、フィールドを調査しそれを分析して分類したり法則を見出したりして考察する視点は、まさに理系に必要な視点だと、私は考えています。その意味では、地理は文系と理系の融合した学問と言えるでしょう。

地理オリンピックは自分が持っている知識を総動員し、思考力を最大限に発揮することのできる貴重な機会です。そして、地理オリンピックを通じて身に付けた思考力や洞察力は、必ずその他の分野にも活かすことができます。是非、皆さんも地理オリンピックに挑戦してみてください。

## ひらがみさ 平賀美沙さん

桜蔭高等学校卒業

東京大学 理科一類 在学中

iGeo Kyoto 2013

日本代表チーム・選手

2013年に京都で行われた  
世界大会に派遣されました

地理オリンピック世界大会の大きな魅力の一つは国際交流ができます。世界各地からの参加者ととても高いレベルの地理の議論ができます。お互いに知識の前提があるので非常に有意義です。大学生になると国際交流ができる機会は多くありますが、これほど参加者のレベルと情熱が期待できるものは少ないように思います。それに加え、競争の中で交流することで結びつきを強められます。世界大会での友達に対しては、大学生になってから知り合った海外の学生よりもはるかに思い入れが強く、また会いたいと感じます。本当に貴重な経験でした。

みなさんの中には日本代表なんて自分には無理だと思っている方もいらっしゃると思います。私もそう思っていました。しかし、地理を愛する気持ちさえあれば誰でも代表を狙えるのです。そもそも、あれほど面白い地理の問題を出題してくれる試験は他にないです。

地理オリンピックで問われるるのは地理の知識の応用力と、人間としての柔軟性です。高校地理の知識量がすぐに得点になるわけではありません。生活の中で常に地理的・多面的な視点で物事を見ることは、オリンピックのためだけではなく、人生の豊かさにも繋がるように思います。常に高みを目指して頑張ってください。

## テストの様子(ケルン大会より)



記述式テスト



記述式テストの問題配布



フィールドワークテスト



フィールドワーク直前の説明



フィールドワークの様子



フィールドワークの様子

## ここでは科学地理オリンピックの国内選抜試験で出題された問題を紹介します

### マルチメディアテスト(MMQ)

**第1次選抜試験 問題例** 次の写真は地形図中の①～④のいずれから撮影されたものか答えなさい。



**正解: ③**

地形図は、地理的な考察をするために必要不可欠な道具です。地形図と実際の写真（風景や景観）とを対応させることは、日ごろから慣れることが大切です。まずは身近な地域の風景や景観と地形図を照らし合わせることから始めるといいでしょう。

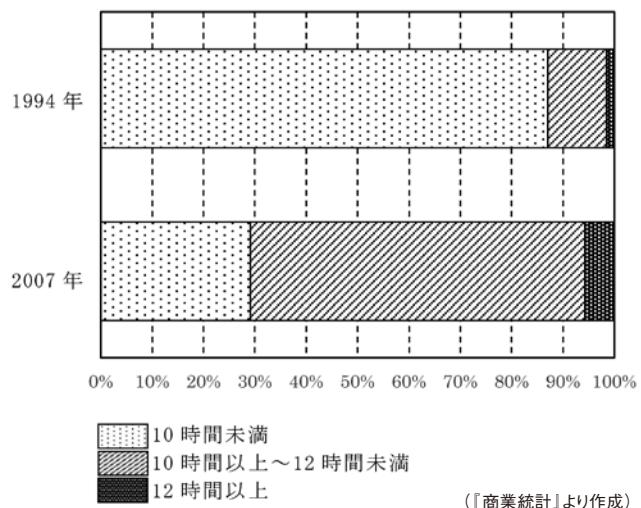
### 記述式テスト(WRT)

#### 第2次選抜試験 問題例

次の図は、東京都特別区および政令指定都市にある百貨店の1994年と2007年の百貨店の営業時間を示したものである。これをよく読んで、との問いに答えなさい。

- ① 図から、上記の都市地域に立地する百貨店の営業時間の変化の特徴を述べなさい。
- ② ①で述べた変化は、消費者のライフスタイルがどのように変化したことに対応しようとしたものと考えられるか、百貨店の立地の特徴をふまえて説明しなさい。(一部改題)

**解答例:** ②「百貨店は駅周辺など交通が至便な場所に立地することが多く、駅を利用する通勤者の帰宅時の購買需要に対応したと考えられる。」社会的な現象を地図の上で調べたり考えたりすることが求められています。日々の生活の中にいる地理を見つけることに関心をもって取り組んでください。



(『商業統計』より作成)



2015年8月にロシアで行われました /

第12回

## 国際地理オリンピック iGeo Russia 2015



セルゲル湖近くの教会前

### — ロシア大会の日本代表生徒と引率教員のレポート —

「未来のあなたの地域を、地球の未来を想像してみてください!」高校生を初めとする若い人のチャレンジ力にかかっています。

このような中、国際地理オリンピックで世界各地の学生と、3つのテスト種目を競い学び、文化交流や様々な経験をすることで、きっと将来への希望や持続的に豊かに発展する社会へつながっていくことを確信しています。

まずは、全国一斉に行われる選考にチャレンジし、地理の持つ面白さを体験してください。

日本代表引率教員 神村智子

地理に没頭することを許された、ロシアでの九日間とそれを迎えるまでの毎日は、僕にとって筆舌に尽くし難く貴重な経験となったと思います。特に国際大会では、日本ではほぼ情報の入ってこない様々な国々の文化や伝統、生活の様子そして行事を、各国の選手から実際に聞くことができ、益々世界への関心をかき立てられました。地理が少しでも好きという人は、臆せず国内予選に参加してください。そこに予期せぬ奥行きと、世界への扉が開けているかもしれませんよ。

日本代表生徒 斎藤亘佑 私立開成高等学校3年(東京都)

ロシアで過ごした日々は面白いことばかり、土地の空気を感じ、初めての人と話をし、とても楽しむことができた。唯一お腹を壊したことは面白くなかった。日本で必死に勉強するよりも運動して体力をつけるべきだったかと後悔したというのは冗談だが、大会の過程を楽しむことが重要だと感じている。今後ますます多くの人が楽しみながら日本、そして世界の地理オリンピックに参加してくれることを願っている。

日本代表生徒 辻有恒 私立灘高等学校3年(兵庫県)



ポスターセッションで参加者に説明する選手



閉会式でメダルと賞状を授与された選手たち

2015年大会はロシア連邦のトヴェリという街での開催でした。ロシアの豊かな自然を肌で感じつつ、世界中の高校生と交流することで、新たな世界観を得られたのではないかと思います。国際大会では三種類の試験と同時に、遠足など様々なプログラムに取り組み、有意義な時間を過ごす中で、また新たな学びができると思います。今年は、日本代表は男子選手のみの構成でしたが、女子選手のみの国もあります。より多くの生徒の挑戦を歓迎します。

日本代表引率教員 井上明日香

ロシアにいた9日間は最高に楽しい9日間でした!テストで自分が準備してきた力を発揮するのももちろんすごく楽しいけれど、他にもexcursionやsong festival、スポーツ大会、ロシア文化体験、火を使ったパフォーマンスやディスコで楽しんだりして、ロシアの自然の雄大さと様々な人の魅力に出会えました。貴重な体験をさせてくださった日本委員会の方々に本当に感謝しています。旅行が好きな人、世界に興味がある人、住んでいる街に興味がある人、"地理"を楽しむたくさんの人々が来年の大会にも集まってくれることを願っています。

日本代表生徒 菊池裕太 筑波大学附属駒場高等学校3年(東京都)

私が地理オリンピックを知ったのはちょうど高1の秋頃、学校の先生からこの冊子をいただいたときであった。そして私はほんの軽い気持ちでこのオリンピックに応募した。だが、このオリンピックを通して私が得たものは大きかった。新たな土地、地図、資料、価値観との出会い、そして何よりも日本、さらには世界の志高い仲間や先生との出会いがそこにはあった。その結果、私の地理への愛は一層強いものとなった。

地理オリンピックへの参加を、私は強く、強くお勧めする。必要なのは地理を愛する心、それだけだ。

日本代表生徒 佐藤剛 筑波大学附属高等学校2年(東京都)